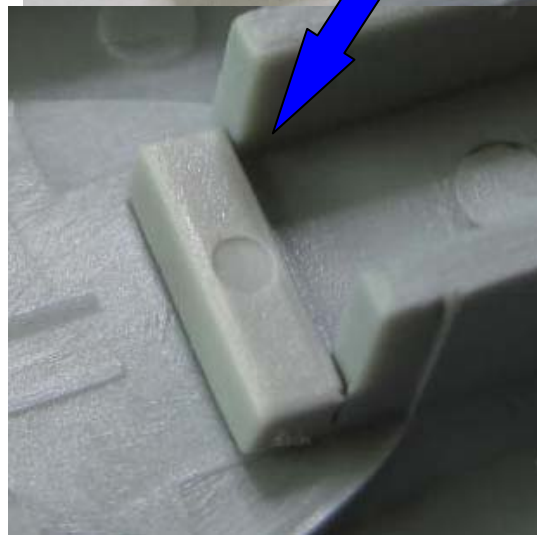


技MIX ジェット推進ユニットA 調整ガイド

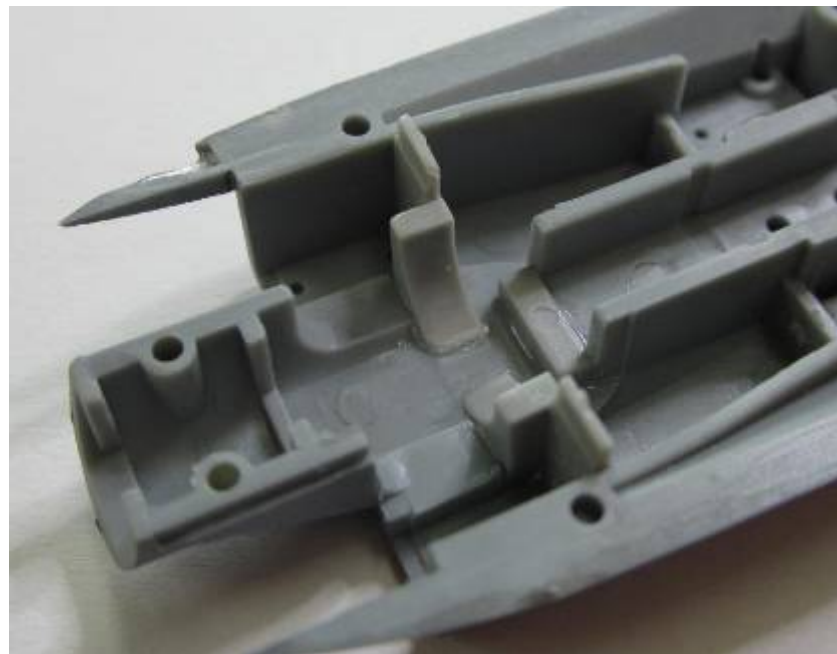
ステップ1: スペーサーの取り付け



ジェット推進ユニットAのファンが機体下部の床にぶつからないように、
図の位置に○印を上に向け同梱の
スペーサーを接着してください。



写真のような位置に
置き接着をする。



技MIX ジェット推進ユニットA 調整ガイド

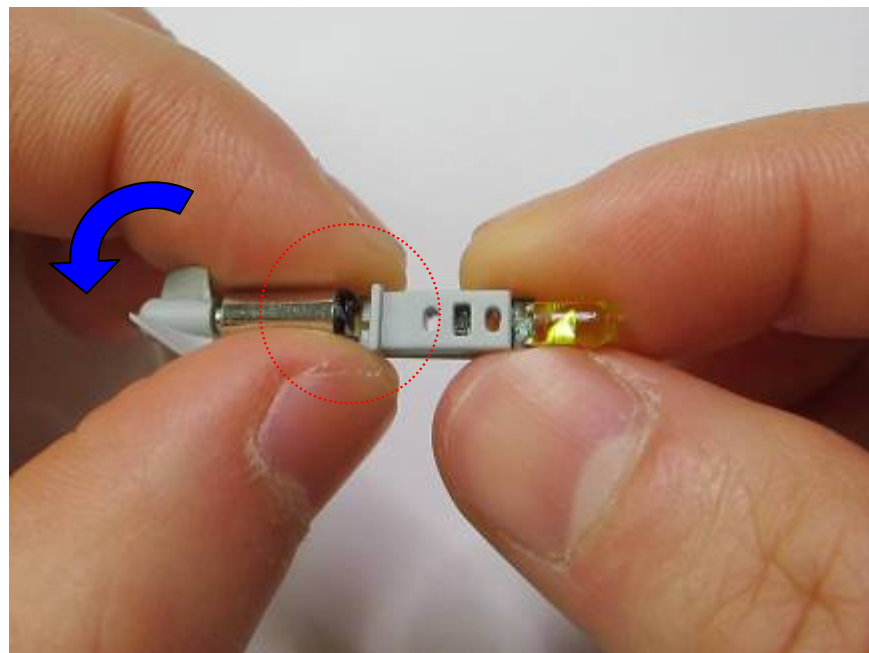
ステップ2: ジェット推進ユニットの矯正



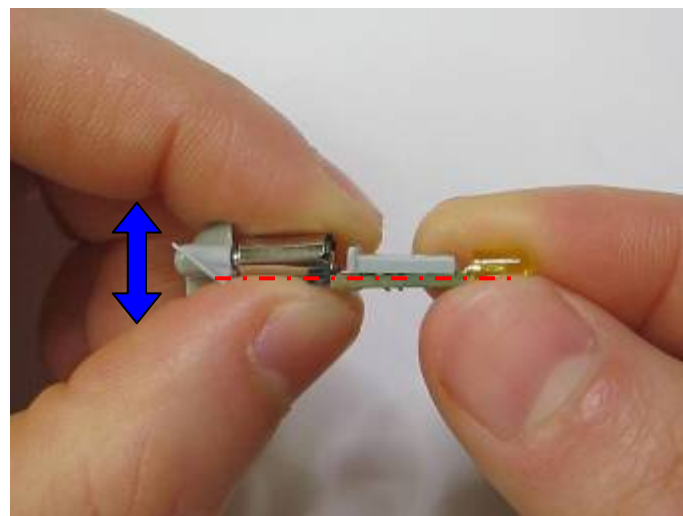
製品によりこのように曲がっている場合があります。

ジェット推進ユニットのモーターの取り付けが基板に対して曲がっている場合、モーターをゆっくりと矯正してまっすぐにしてください。

注意: 破損の危険性がございますので、無理に曲げ過ぎないようにご注意ください。



写真の赤枠の部分のように、しっかりモーターの根元を持ってゆっくりと矯正してください。



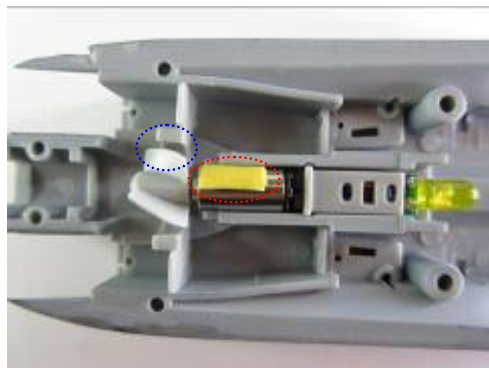
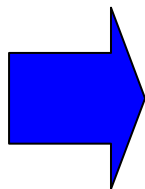
同時に、モーターの上下方向、LEDの上下方向対しても矯正してまっすぐにしてください。

技MIX ジェット推進ユニットA 調整ガイド

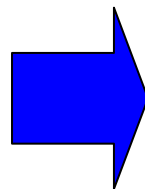
ステップ3: 動作確認およびモーター位置の微調整



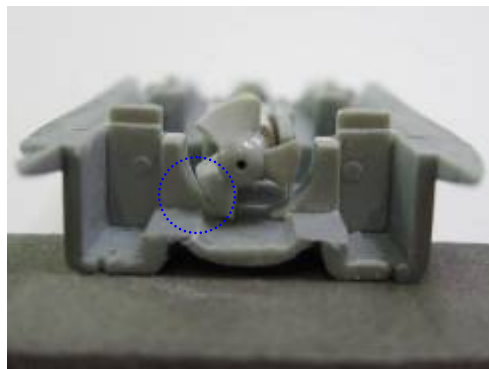
矯正後も若干曲がっている可能性があります。



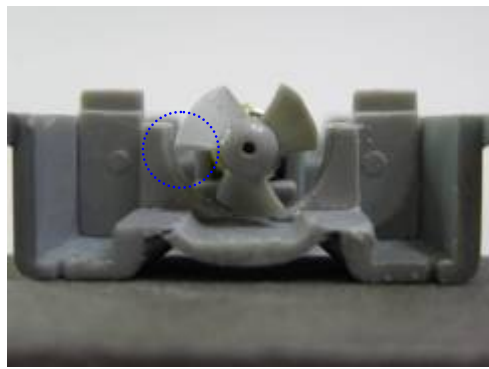
図のように曲がっている方の側面にセロテープを貼り矯正をしてください。



作業後OP03フライトユニットと接続して通電させファンの回転とLEDの発光を確認してください。



この状態ですと壁にこすれ回らない可能性があります。



手でプロペラを回すなどをして壁にこすれていないかを確認してください。



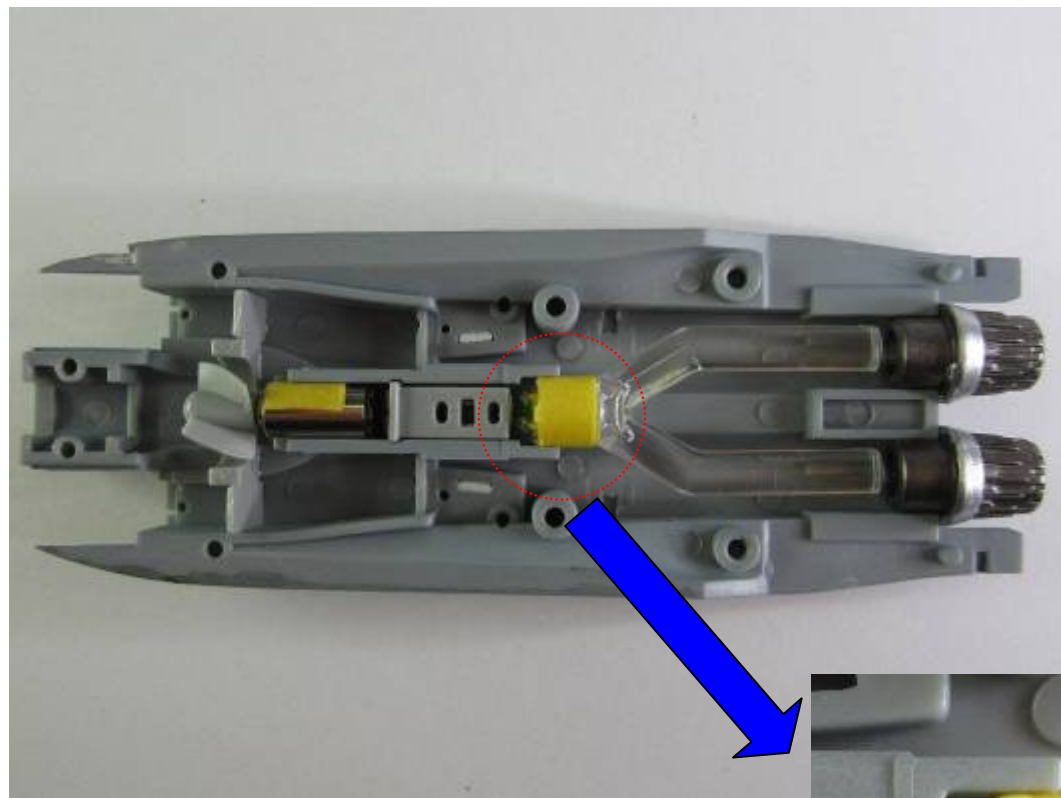
ファン回転時は十分に注意して確認をしてください。

※正面からの写真は説明のためボディを切り取っております。

ファンが床や壁などにこすれて異音があるときは、モーターとモーターの周囲の壁の間に小さく切ったセロテープ片を貼るなどしてモーターの位置を矯正し、ファンがこすれないよう調整してください。

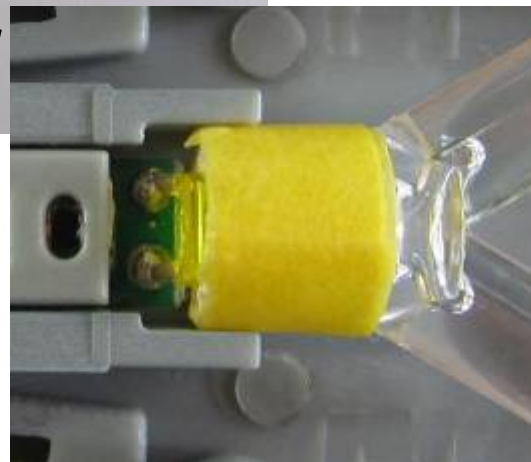
技MIX ジェット推進ユニットA 調整ガイド

ステップ4: 導光パーツの固定



導光パーツが後ろにずれて排気口をふさがないように、矢印の部分で胴体部分と接着してください。

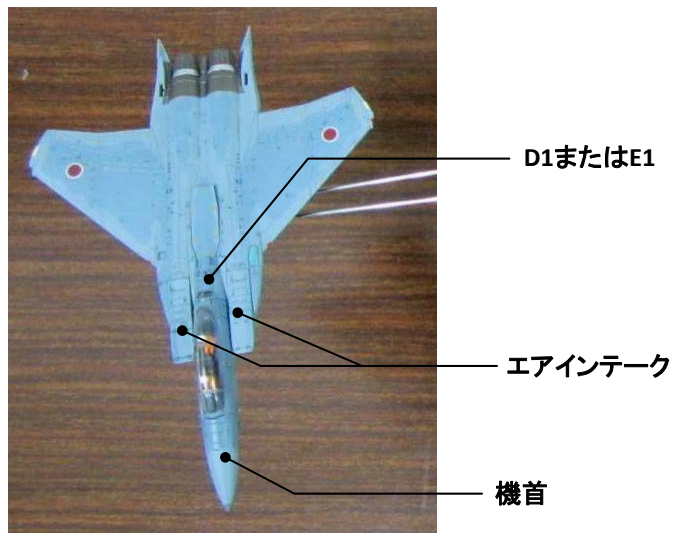
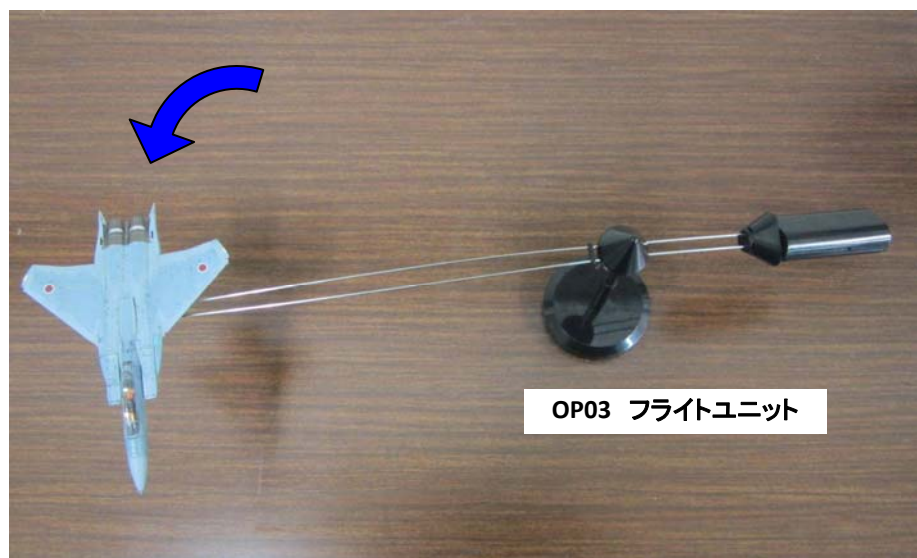
ノズル(H9又はKK1)はこのステップで胴体下部に接着してください。



※接着の他にも左図のように導光パーツのLED差込部分にセロテープを巻いて固定することもできます。

技MIX ジェット推進ユニットA 調整ガイド

ステップ5: 旋回飛行の確認



※調整までは必ず仮組みで確認してください。

ジェット推進ユニットAを組み込んだ機体下部に機体上を取り付け、さらにエアインテーク、B3パーツD1またはE1パーツ、最後に組み立て済みの機首を接着せず仮組みではめ合いさせてみた状態でOP03フライトユニットに接続し、ファンの回転及び旋回飛行の確認をしてください。ファンがどこかにこすれていて十分に回転が上がらないと必要な推進力が得られず旋回飛行しにくい場合があります。

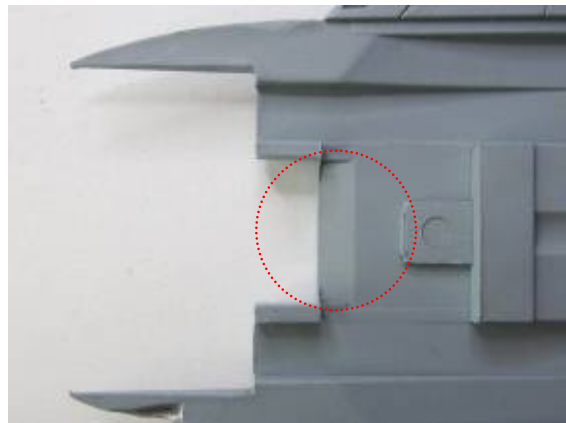


※OP03フライトユニットの支柱が傾いたりアームの傾きが大きすぎると不要な摩擦抵抗がかかり旋回飛行しにくくなる場合がありますので、支柱は垂直に、アームは平行に調整してください。

※OP03をご使用の際、電源は直列3Vに設定してください。

技MIX ジェット推進ユニットA 調整ガイド

ステップ6: 機体上部の切削調整



※機体上部(裏側)

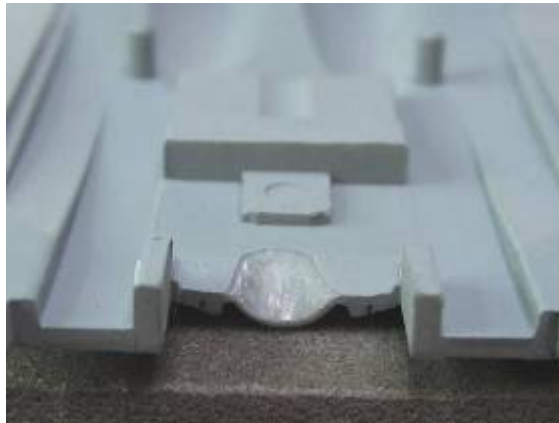


切削時、カッターを使用の際は中央から
少しずつ切れ目を入れて削ってください。
*一度に切削するとボディの破損及び怪我
の危険性がありますのでご注意ください。*

モータとファンの圧入具合によっては、
まれにファンと機体上部がこすれる
可能性があります。
その際は図の部分のカッターかやすりで
削ってください。



上図の程度の大きさに削ってください。



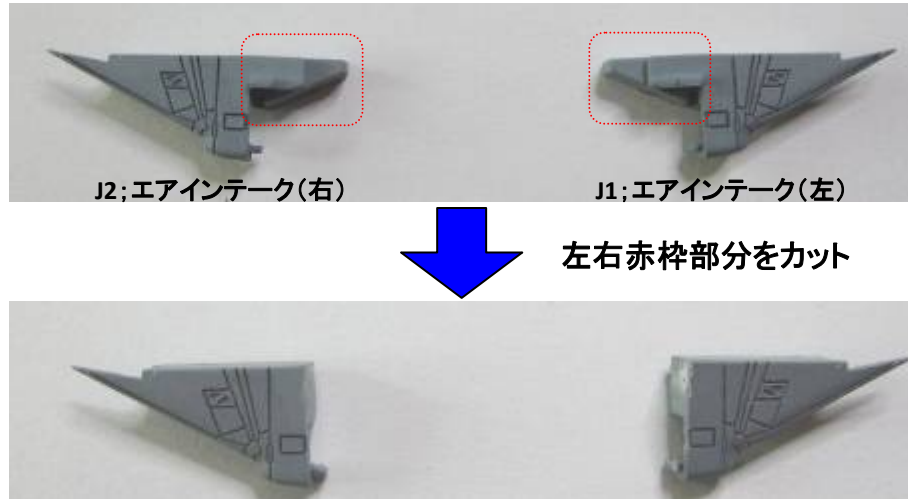
切削形状は外観形状に合わせて
切削してください。

以上1~6のステップをおこない、
ファンのこすれ調整と旋回飛行の
確認をした上で各パーツを接着して
仕上げてください。

技MIX ジェット推進ユニットA 調整ガイド

F-15をより旋回飛行させるためのアドバイス

①エアインテークの加工

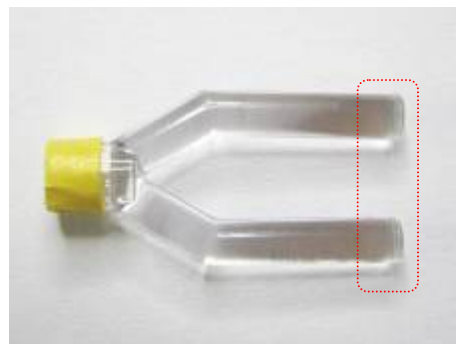


先のステップを経て旋回飛行の確認をした上で、よりスムーズに旋回飛行させたい場合の参考にしてください。

※尚、加工の際お客様の責任において加工をしてください。

エアインテークJ1、J2パーツの後端をカットすることで吸気の流れをより良くすることができます。

②導光パーツの加工



パーツ後端部分を2~3mmカット



カット前



カット後

導光パーツの後端を2~3mmカットすることで排気の流れをより良くすることができます。